

令和 6 年 6 月 11 日現在

機関番号：15401

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19H01640

研究課題名(和文) 外国人大学教員・研究者の役割と貢献に関する国際比較研究

研究課題名(英文) A Comparative Study in the Roles and Contributions of Foreign Faculty and Researchers in Japan

研究代表者

黄 福涛 (Huang, Futao)

広島大学・高等教育研究開発センター・教授

研究者番号：60335693

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,650,000円

研究成果の概要(和文)：カリフォルニア大学バークレー校での現地調査を行い、コロナ時代における米国の大学に勤めた外国人教員の生活や仕事の状況を把握した。Zoomを通じて国内外の研究者と複数回のワークショップを開催し、各国の外国人教員の特徴や課題を比較分析。また、『Higher Education Quarterly』誌に特集を寄稿し、国際会議で研究成果を発表。米国や日本、中国の大学で働いた外国人教員や研究者の役割や直面した課題の分析に関する成果を多言語で公開し、広く共有した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、国際化が進む中で、外国人大学教員や研究者の日本での役割と貢献を明らかにすることを目指している。これにより、教育や研究の質の向上、国際的なネットワークの構築、そして日本の国際競争力の強化にどのように寄与しているかを探る。具体的には、アメリカ、イギリス、オランダ、オーストラリア、アジア諸国など、多国籍の事例を比較し、外国人教員がもたらす教育と研究活動の特性を分析する。また、これらの成果を踏まえて、効果的な外国人教員の採用策や活躍を促進するための政策提言も行う。この研究は、グローバルな視点を持ちながらも、日本の教育機関が直面する課題に対する解決策を提案することにも注力している。

研究成果の概要(英文)：Field research was conducted at the University of California, Berkeley to understand the living and working conditions of foreign faculty during the COVID era. Multiple workshops were held via Zoom with domestic and international researchers to compare and analyze the characteristics and challenges of foreign faculty from various countries. Additionally, a special feature was contributed to the "Higher Education Quarterly" journal, and research results were presented at international conferences. The findings on the roles and challenges faced by foreign faculty and researchers working at universities in the U.S., Japan, and China were published in multiple languages and widely shared.

研究分野：比較高等教育

キーワード：外国人教員・研究者 国際化 比較研究

## 1. 研究開始当初の背景

知識基盤社会の進展に伴い、高度人材を確保する必要性が増大している。例えば、OECD(経済協力開発機構)が、2001年6月に Seminar on International Mobility of Highly Skilled Workers をテーマとする会議をパリで開催し、その会議において、21世紀における国際的な人材の移動問題と行動を取り上げ、その成果が、2002年に報告書「International Mobility of the Highly Skilled」として公表された。日本においても、中央教育審議会が平成12年度に「グローバル化時代に求められる高等教育のあり方について」(答申)を公表し、その中で、グローバル化の進展を受け、優秀な外国人教員と研究者の積極的採用を進め、日本の大学や企業のさらなる国際化を図る必要性が謳われた。また第5期科学技術基本計画においても、「優れた外国人研究者を受け入れ、活躍を促進していくことは、国際的な研究ネットワークを一層強化するとともに、多様な視点や発想に基づく知識や価値を創出する観点から重要である」と強調されている。さらに、平成25年5月17日、世界に勝てる大学改革の一環として、安倍総理が「成長戦略第2弾スピーチ」の中で示した「国立の8大学で、今後3年間の内に、1500人程度を、世界中の優秀な研究者に置き換えます。これにより、外国人教員を倍増させます。」とのスピーチを日本アカデミアで行った。この内容は、その後の「スーパーグローバル大学創成支援」の内容を支えるものであった。

これらを踏まえて、本研究では、以下の4点の研究課題の核心をなす学術的「問い」を考えている。第一に、ポスドクを含む外国人大学教員・研究者が所属する学部・学科、そして大学全体や研究機関、企業にもたらす外国人大学教員・研究者の役割、特に最大の貢献はどのようなものなのか？具体的には、彼らによる日本の大学教育活動、研究活動、国際的ネットワークの構築、日本全体の国際的競争力の向上への役割と貢献がどのようなものがあるか？第二に、国際比較研究と実証的研究に基づいて、今後どのような外国人大学教員・研究者を採用すべきか？第三に、彼らの役割と貢献をどのようにすれば効果を最大化できるか？最後に、非英語圏諸国において、どのような制度を策定し、優秀な外国人大学教員・研究者の採用と活躍が促進できるか？

## 2. 研究の目的

本研究では、近年の外国人大学教員・研究者の役割と貢献に関する学説と先行研究を整理しつつ、アメリカ、イギリス、オランダ、オーストラリア、中国、韓国、シンガポールにおける外国人大学教員・研究者の役割と貢献、その特徴及び類型に関する比較的研究を行う。本研究は、海外の代表的な大学へのインタビュー、そして共通項目を設定した質問紙調査とインタビューによる国内の実態調査を通して、日本の外国人大学教員・研究者、公的研究機関・非営利団体・企業等に所属する外国人研究者(ポスドクも含む)がもたらす役割と貢献を解明し、戦略的な提言を行うことを目指すものである。

## 3. 研究の方法

本研究は、海外協力研究者と共同で、関連諸国・地域における行政および行政機関関係者、外国人大学教員・研究者が所属する大学の管理者と同僚を対象に、主に共通の調査票に基づく面接調査を実施する。これらの比較的研究に関する知見を参考に、アンケート調査と聞き取り調査に基づいて、日本における外国人大学教員・研究者(ポスドクも含む)の役割と貢献に関する特性を解明する。

具体的にはまず、先行研究の検討を通して国際的人材の移動や大学教授職、研究者の国際化に関する理論を整理し、世界的動向をマッピングする。その上で、日本との比較の上で有効で、かつ、外国人大学教員・研究者の採用と活躍が盛んに進められている国として、アメリカ、イギリス、オランダ、オーストラリア、中国、韓国、シンガポール、香港を対象に、各国・地域の外国人大学教員・研究者の役割と貢献の実態を考察する。これらの大学の事例を取り上げ、外国人大学教員・研究者の役割と貢献の効果と課題、当該国の国際的研究と教育の通用性の向上と国際的競争力の向上との関係に焦点をあてて、日本の大学にとって参考になる点について比較研究を行う（図1参照）。

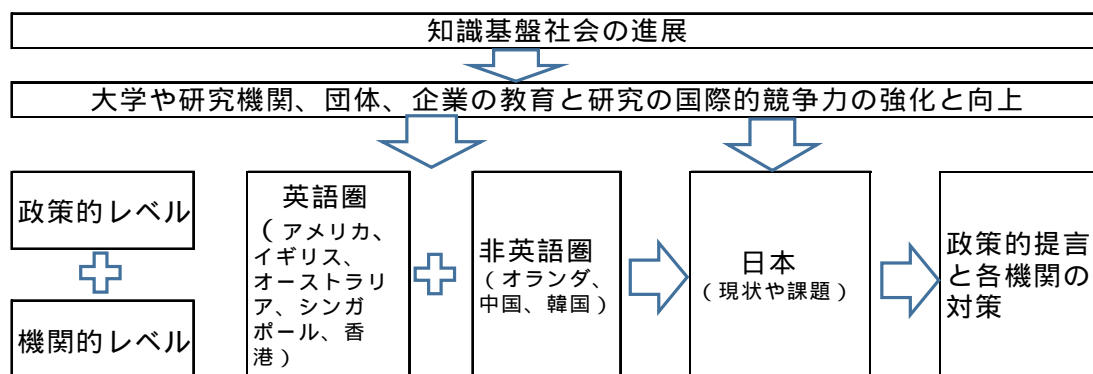


図1 分析枠組み

#### 4. 研究成果

本研究では、主に以下の研究成果が挙げられる。

(1) 外国人研究者は日本の研究機関や企業で高い影響力を持つプロジェクトに従事しており、革新的な技術やソリューションの開発に寄与している。具体的には、先端電池技術の進展や医薬品開発など、多岐にわたる分野での貢献が見られる。(2) 外国人研究者は文化的および言語的な障壁を克服するためにさまざまな挑戦を経験している。言語トレーニング、メンタリングプログラム、ネットワーキングの機会などの支援メカニズムが整っている機関では、彼らの潜在能力を十分に活用することができる。例えば、研究機関や企業が提供する日本語教育や文化適応プログラムが、外国人研究者のスムーズな職場適応を助けている。

本研究の成果は、国際的な才能を引き付け、維持するための戦略を策定する上で重要な示唆を与えている。具体的には、以下の点が強調されている。

(1) 外国人研究者の採用においては、個々の研究者が持つ多様な動機や背景を理解し、それに対応した柔軟な採用戦略が求められている。(2) 外国人研究者がその能力を最大限に発揮できるよう、包括的で支援的な職場環境を整えることが重要である。これには、言語や文化に対する支援だけでなく、キャリアパスの明確化や公平な評価制度の導入も含まれている。(3) 国際的な人材が持つ独自のスキルや視点を活用することで、組織全体のイノベーション力や競争力を向上させることができる。特に、多様な背景を持つ研究者が新しい視点やアイデアをもたらし、研究活動の質を高めることが期待されている。

本研究の成果は、日本の大学、公的研究機関、企業が国際的な研究者を効果的に活用し、グローバルな競争力を維持するための具体的な方策を提供するものであり、今後の政策立案や実務において貴重な指針となるだろう。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計12件（うち査読付論文 11件 / うち国際共著 5件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 Huang F.	4. 巻 75
2. 論文標題 Challenges to the Asian academic profession: Major findings from the international survey	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Higher Education Quarterly	6. 最初と最後の頁 438-452
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hequ	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Huang F. & Chen L.	4. 巻 4(4)
2. 論文標題 Chinese Faculty Members at Japanese Universities: Who Are They and Why Do They Work in Japan?	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ECNU Review of Education	6. 最初と最後の頁 743-773
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/2096531120985877	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Huang F.	4. 巻 10(1)
2. 論文標題 Japanese doctoral students' stress: Main findings from a national survey in 2017	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Chinese Education	6. 最初と最後の頁 online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/22125868211006206	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 黄 福涛	4. 巻 5
2. 論文標題 中国の大学における外国人教員の採用等に関する政策の変化 1991年と2020年の二つの公文書の解説を中心に -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 兵庫大学高等教育研究	6. 最初と最後の頁 125-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Huang F. & Welch A.	4. 巻 45:10
2. 論文標題 Introduction to Special Issue of University Governance and Leadership	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Studies in Higher Education	6. 最初と最後の頁 2033-2035
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/03075079.2020.1823649	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Huang, F., Daizen T., & Kim Y.	4. 巻 45:10
2. 論文標題 Changes in Japanese universities governance arrangements 1992-2017	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Studies in Higher Education	6. 最初と最後の頁 2063-2072
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/03075079.2020.1823642	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Horiuchi K. & Huang F.	4. 巻 56
2. 論文標題 Public good of higher education in Japan: The changing perceptions of three actors in the post-war era	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Centre for Global Higher Education Working Paper	6. 最初と最後の頁 1-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Huang F., Chen L. & Horiuchi K.	4. 巻 57
2. 論文標題 The Public Good in Japan's Higher Education: Main findings from interviews with various stakeholders	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Centre for Global Higher Education Working Paper	6. 最初と最後の頁 1-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黄 福涛	4. 巻 18(2)
2. 論文標題 40年来日本高等教育研究的变化：主題与方法論	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 北京大学教育評論	6. 最初と最後の頁 87-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.12088/pku1671-9468.202002005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Futao Huang, Tsukasa Daizen, Yangson Kim	4. 巻 71
2. 論文標題 Challenges facing international faculty at Japanese universities: main findings from the 2017 national survey	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Educational Development	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijedudev.2019.102103	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Futao Huang, Wenqin Shen	4. 巻 8
2. 論文標題 What Determinants Affect Doctoral Students' Career Plans? Main Findings from a 2018 Survey of Chinese Doctoral Students	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Chinese Education	6. 最初と最後の頁 99-116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1163/22125868-12340108	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Akira Arimoto, Tsukasa Daizen, Futao Huang, Yangson Kim	4. 巻 8
2. 論文標題 Japanese Doctoral Students' Career Plans and Research Productivity: Main Findings from a 2017 National Survey	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Chinese Education	6. 最初と最後の頁 117-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1163/22125868-12340109	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計24件（うち招待講演 13件 / うち国際学会 14件）

1. 発表者名 Huang F.
2. 発表標題 The pandemic 's effects on Japan 's doctoral education
3. 学会等名 the Europe University Association (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Huang F., Miyoshi N., & Li M.
2. 発表標題 International Researchers and Scientists outside University in Japan
3. 学会等名 The 7th Higher Education Research Association (HERA) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Chen L. & Huang F.
2. 発表標題 How do international faculty at Japanese universities view their integration?
3. 学会等名 CGHE Seminar 219 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Huang F.
2. 発表標題 Socio-Cultural Adjustment of International Faculty Member in Japan 's Research Universities
3. 学会等名 Global Higher Education Forum (CGHEF)2021 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Huang F.
2. 発表標題 How did the COVID-19 Pandemic Affect International Academics in Japan?
3. 学会等名 2021 Global Education Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Huang F.
2. 発表標題 International Faculty at 12 Chinese Universities: A survey study
3. 学会等名 CHER 33th Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 黄福涛、大膳司、三好登
2. 発表標題 日本の公的研究所における外国人研究者の雇用と役割に関する研究
3. 学会等名 日本教育社会学会第73回年次研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Huang F.
2. 発表標題 Comparing Academic Productivity between International and Japanese Faculty: Findings from National Surveys of International and Japanese Faculty
3. 学会等名 College of Education, the University of Hong Kong (招待講演)
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 黄 福涛
2. 発表標題 普及化段階高等教育の問題と対策
3. 学会等名 中国高等教育学專業委員会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 黄 福涛
2. 発表標題 普及化段階の高校素質教育
3. 学会等名 中国素質教育分会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Huang F.
2. 発表標題 The Liberal Arts Education in Japan's Universities
3. 学会等名 The Alliance of Asian Liberal Arts Universities (AALAU)（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Huang F.
2. 発表標題 What does the future of higher education look like?
3. 学会等名 The 2020 Symposium on Educational Innovations and Reform（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Huang F. & Kim Y.
2. 発表標題 University Governance and Management in Japan and Korea:Main findings from two national surveys in 2017
3. 学会等名 The 3rd International Conference of the APIKS Project (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Huang F., Daizen, T., Chen L. & Horicuhi K.
2. 発表標題 Public Goods in Japan 's Higher Education:Main findings from Project 1.1
3. 学会等名 Centre of Global Higher Eeducation 2020 Webinar (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Huang F. & Kim Y.
2. 発表標題 How did Japan's academics view the outcomes of internationalization at their universities and the factors affecting them?
3. 学会等名 The 4rd International Conference of the APIKS Project (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Huang F.
2. 発表標題 After the First Wave: Universities, Covid-19 Experience, Lessons for a New Era
3. 学会等名 Consortium for Higher Education Research in Asia
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Huang F.
2. 発表標題 Japan's responses to the pandemic in higher education
3. 学会等名 Lingnan University
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Huang F.
2. 発表標題 International Student Mobility in Japan
3. 学会等名 Dalian University of Technology
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Huang F.
2. 発表標題 How has Japan responded to the pandemic in higher education?
3. 学会等名 Zhejiang University
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Futao Huang
2. 発表標題 Internationalization and Enhancing the International Competitiveness of Japan's University
3. 学会等名 International Conference on Internationalization Strategies in Building a World-Class University (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Futao Huang
2. 発表標題 Globally-Oriented and Locally-Based? Strategies and practice of producing global human resource in Japan
3. 学会等名 5th Annual UW-PKU Workshop on Higher Education (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Futao Huang
2. 発表標題 Internationalization of Japan's Higher Education:Changes and Challenges
3. 学会等名 4th Integrate to Innovate International Education Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akiyoshi Yonezawa, Futao Huang
2. 発表標題 World-class University Policies and Rankings in Transition: A Comparative Study of China and Japan
3. 学会等名 8th International Conference on World-Class Universities (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Futao Huang
2. 発表標題 American Faculty at Japanese Universities
3. 学会等名 10TH BIENNIAL SYMPOSIUM on Educational Innovations in Countries around the World (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計16件

1. 著者名 Huang F. & Welch A.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 245
3. 書名 International Faculty in Asia: In Comparative Global Perspective	

1. 著者名 Thondhlana, J., Garwe, E., de Wit, H., Gacel-Avila, J., Huang, F., & Tamrat, H.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Bloomsbury Publishing	5. 総ページ数 664
3. 書名 The Bloomsbury Handbook of the Internationalization of Higher Education in the Global South	

1. 著者名 Yonezawa A. & Huang F.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Brill Academic Pub	5. 総ページ数 228
3. 書名 Nian Cai Liu, Yan Wu and Qi Wang (Eds.).World-Class Universities: Global Trends and Institutional Models	

1. 著者名 Huang F	4. 発行年 2020年
2. 出版社 SAGE Publications Pvt. Ltd	5. 総ページ数 528
3. 書名 Yudkevich, M., P. Altbach, & de Wit, H. (eds.) Trends and Issues in Doctoral Education: A Global Perspective	

1. 著者名 Huang F.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Oxford University Press	5. 総ページ数 421
3. 書名 Marijk van der Wende, et. al. (eds.). China and Europe on the New Silk Road: Connecting Universities across Eurasia	

1. 著者名 Huang F.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 SAGE	5. 総ページ数 1952
3. 書名 David, M. & Amey, M. (2020). The SAGE Encyclopedia of HIGHER EDUCATION	

1. 著者名 黄 福涛	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東信堂	5. 総ページ数 320
3. 書名 有本章編著『大学教授職の国際比較 - 世界・アジア・日本』	

1. 著者名 黄福涛 大膳司	4. 発行年 2019年
2. 出版社 広島大学高等教育研究開発センター	5. 総ページ数 97
3. 書名 『外国人教員に関する国際比較的研究』（高等教育研究叢書154）	

1. 著者名 黄福涛	4. 発行年 2019年
2. 出版社 広島大学高等教育研究開発センター	5. 総ページ数 97
3. 書名 第1章 オーストラリアの研究型大学における外国人教員	

1. 著者名 黄福涛	4. 発行年 2019年
2. 出版社 広島大学高等教育研究開発センター	5. 総ページ数 97
3. 書名 第2章 中国の大学における外国人教員 - インタビュー調査を中心に -	

1. 著者名 大膳司 黄福涛	4. 発行年 2019年
2. 出版社 広島大学高等教育研究開発センター	5. 総ページ数 97
3. 書名 第3章 日本の大学における外国人教員の採用 - 官庁データとインタビューを踏まえて	

1. 著者名 黄福涛 大膳司	4. 発行年 2019年
2. 出版社 広島大学高等教育研究開発センター	5. 総ページ数 97
3. 書名 第4章 日本における外国人大学教員 - 属性的特徴と意識を中心に -	

1. 著者名 李 敏	4. 発行年 2019年
2. 出版社 広島大学高等教育研究開発センター	5. 総ページ数 97
3. 書名 第7章 外国人大学教員に対する役割期待に関する研究 地方国立大学 S 大学を例にして	

1. 著者名 Futao Huang	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Palgrave Macmillan, Cham.	5. 総ページ数 201
3. 書名 Changes to Internationalization of Higher Education? An Analysis of Main Findings from Two National Surveys in 2008 and 2017. In Neubauer D., Mok K., Edwards S. (eds) Contesting Globalization and Internationalization of Higher Education. International and Development Education	

1. 著者名 Futao Huang	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer, Dordrecht <a href="https://www-kofu.jsps.go.jp/kofu1/images/bt_add_small.gif">https://www-kofu.jsps.go.jp/kofu1/images/bt_add_small.gif</a>	5. 総ページ数 2819
3. 書名 Field of Higher Education Research, Asia. In: Teixeira P., Shin J. (eds) Encyclopedia of International Higher Education Systems and Institutions	

1. 著者名 Futao Huang	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Singapore: Springer	5. 総ページ数 1200
3. 書名 Academic Profession in Chinese Higher Education Institutions. In M. A. Peters (Ed.), Encyclopedia of Educational Philosophy and Theory	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-



## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	金 良善  (Kim Yangson)  (10802861)	広島大学・高等教育研究開発センター・准教授   (15401)	
研究分担者	白川 展之  (Shirakawa Nobuyuki)  (20556071)	新潟大学・人文社会科学系・准教授   (13101)	
研究分担者	李 敏  (Li Min)  (30531925)	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構・研究開発部・教授   (82646)	
研究分担者	三好 登  (Miyoshi Noboru)  (40735164)	広島大学・高大接続・入学センター・特任准教授   (15401)	
研究分担者	L I M I N G  (Li Ming)  (50778107)	大阪大学・グローバルイニシアティブ機構・特任助教(常勤)   (14401)	
研究分担者	大膳 司  (Daizen Tsukasa)  (60188464)	広島大学・高等教育研究開発センター・教授   (15401)	
研究分担者	米澤 彰純  (Yonezawa Akiyoshi)  (70251428)	東北大学・国際戦略室・教授   (11301)	
研究分担者	小竹 雅子  (Kotake Masako)  (40822078)	島根大学・学術研究院教育研究推進学系・助教   (15201)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	BROTHERHOOD THOMAS (Thomas Brotherhood) (40926656)	立教大学・経営学部・助教  (32686)	
研究分担者	杉本 和弘 (Sugimoto Kazuhiro) (30397921)	東北大学・高度教養教育・学生支援機構・教授  (11301)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計3件

国際研究集会 Higher Education Research: Challenges and Prospects	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 International Academics in a Global and Comparative Perspective: Their characteristics, work roles and contributions	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 The Changing Internationalization of Higher Education in the New Contexts	開催年 2022年～2022年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関